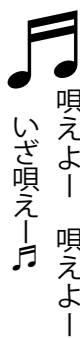


読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



唄えよー 唄えよー
いざ唄えー唄

夕方になると哀調を帯びた音頭が、太鼓の拍子に合わせて響き渡ります。

ここ新本地区では、毎年7月下旬に恒例の義民祭が行われています。今から300年前の江戸時代中ごろ、享保3年の事件により犠牲となった村人4人の義挙に対し、慰霊と感謝の念を表するため、地区をあげて開催しています。

最近では、この義民の由来を新本小学校の児童がオペレッタ「義民さま」を演じ、大きな感動を与えています。児童が義民の歴史を自ら演じ、新本の歴史を体で学ぶという恵まれた環境は、成長した後の郷土愛が期待で



4人の功績を称える義民碑

きます。

平成30年は、4人が犠牲となった事件からちょうど300年という節目を迎えることから、従来の義民祭とは別に、11月11日(日)に新本義民三百年記念式典を予定しています。これを、歴史ある義民祭を新本の伝統行事として次の世代へ引き継ぐ出発点として位置づけ、のどかで住みやすい新本地区を、今以上に豊かなものにするのが、我々の使命であると考えています。

(守長健尚さん・新本)

5月にマラソン交流で仙台に行きました。

特に印象に残ったことは、東日本大震災で被害を受けた地区の町並みを見たことです。田植えの準備がされ、道路はきれいに整備されるなど、復興はかなり進んでいる印象を受けました。しかし、震災メモリアル交流館や震災遺構の荒浜小学校にあった震災前の活気溢れるまちの写真を見て、そうではないことに気がき



荒浜小学校で町並みの模型を見学

ました。テレビやスマホの画面越しでは伝わらない震災の恐怖を、まち全体が静かに物語り、私たちの今の防災意識の在り方を問いつけているようでした。

岡山県は自然災害が少ないですが、今から30年の間に南海トラフ巨大地震が起きると言われています。そのときは岡山にも津波は来ます。そのような事態に直面したとき、今のままではうまく対応することは難しいと思います。防災意識を高めるためにも、今回学んだことを多くの人に伝え、東日本大震災を身近なことに感じてほしいと思います。

(総社東中学校 生徒会長 中西萌人さん)

そうじゃ特産商品シリーズが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q オープンから15周年を迎えた国民宿舎サンロード吉備路ときびじつるの里。

昨年度の宿泊利用率は全国89カ所の国民宿舎中で、第●位。

【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そうじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個をセットで贈ります。いただいた意見などは、担当課から連絡することがあります。

【応募期限】 7月31日(火) 【5月号の答え】 地域力 【5月号の当選者】 内藤大貴さん(三輪)、服部寿夫さん(奥坂)

【応募先】 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所市政情報課 ☑ shisei@city.soja.okayama.jp



人口・世帯数 (平成30年6月1日現在)

人口 68,700人(前月比+64人)
(うち外国人登録1225人 前月比+23人)
男 33,417人(前月比+20人)
女 35,283人(前月比+44人)
世帯数 27,329世帯(前月比+61世帯)

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 郷土を大切に 美しい環境をまもりましょう。
- 生涯学び 明るく家庭をきずきましょう。
- たがいに助け合い あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ

「桃太郎伝説」の生まれたまちおかやま 日本遺産に認定



「桃から生まれた桃太郎が、村を荒らす鬼と戦うため、鬼ヶ島に向かい退治する」。

吉備路にルーツがあったとも言われている日本の昔話『桃太郎』。桃太郎のモデル「吉備津彦命」と、鬼のモデル「温羅」のゆかりの地である総社市、岡山市、倉敷市、赤磐市が共同で申請していた「桃太郎伝説」が5月24日、日本遺産に認定されました。

問い合わせ 文化課文化財係 ☎083633

■桃太郎伝説の舞台 総社市には、鬼ヶ島のモチーフとされている「鬼城山」、温羅が生け贄を茹でたとされる「鬼の釜」などが

現存。鬼城山には、温羅の居城とされる鬼ノ城(西門)が復元されています。鬼城山からは総社平野が一望で

き、7世紀後半の築造とされる屏風折の石垣の姿を見ることができま

■伝説の背景

古代吉備の国は、大和朝廷に匹敵する勢力を誇っていました。しばしば大和と対抗し、屈服したことが『日本書紀』や『古事記』から

うかがえ、吉備津彦命と温羅の戦いは、大和と吉備の対立を反映したものと

言われています。作山古墳などの巨大な古墳は大和に匹敵する規模を誇り、強大な勢力がこの地で繁栄していたことを感じさせてくれます。

吉備路の鬼「温羅」

温羅と呼ばれた鬼は、山の上に城を築き、村人を襲い悪事を重ねていた。大和の王から温羅退治の命令を受けた吉備津彦命は、吉備の中山に陣を構え、その西の小高い岡の頂には、温羅の矢を防ぐ巨石の櫓を築いた。命は、温羅に向かって矢を放つ。温羅も応戦し城から矢を放つが、互いの矢は何度もぶつかり合って落ちた。しかし、命が放った矢はついに温羅の左目を射抜く。

温羅の目からは血が噴き出し、川のように流れた。雉になって逃げる温羅を鷹になって命が追う。温羅は、雉から鯉に化け、血の流れる川に逃げたが、命は鷹から鵜になり、鯉を喰い上げ退治した。

藤井フミヤさんが 桃太郎伝説 ゆかりの地を巡る

今年デビュー35年を迎えるアーティスト藤井フミヤさんが5月28日と29日、テレビ収録のため鬼ノ城などを探訪しました。番組の詳細は、次のとおりです。

■番組名 「藤井フミヤスペシャル 岡山で観た。本当の桃太郎伝説」(BSフジ)

■放送日時 7月21日(土)、17:00~17:55



鬼ノ城の角楼で収録に臨む【5/29】

●日本遺産とは 地域の歴史的魅惑や特色を通じて、日本の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度。さまざまな文化財を国内外に発信することで、地域の活性化を図ることを目的としています。



鬼の釜



作山古墳



備中神楽「吉備津」で演じられる命と温羅の戦い



鬼ノ城(西門)